

衆議院憲法審査会における 憲法論議の経過

令和6年12月19日（木）

衆議院法制局・衆議院憲法審査会事務局

目次

(1) 前史

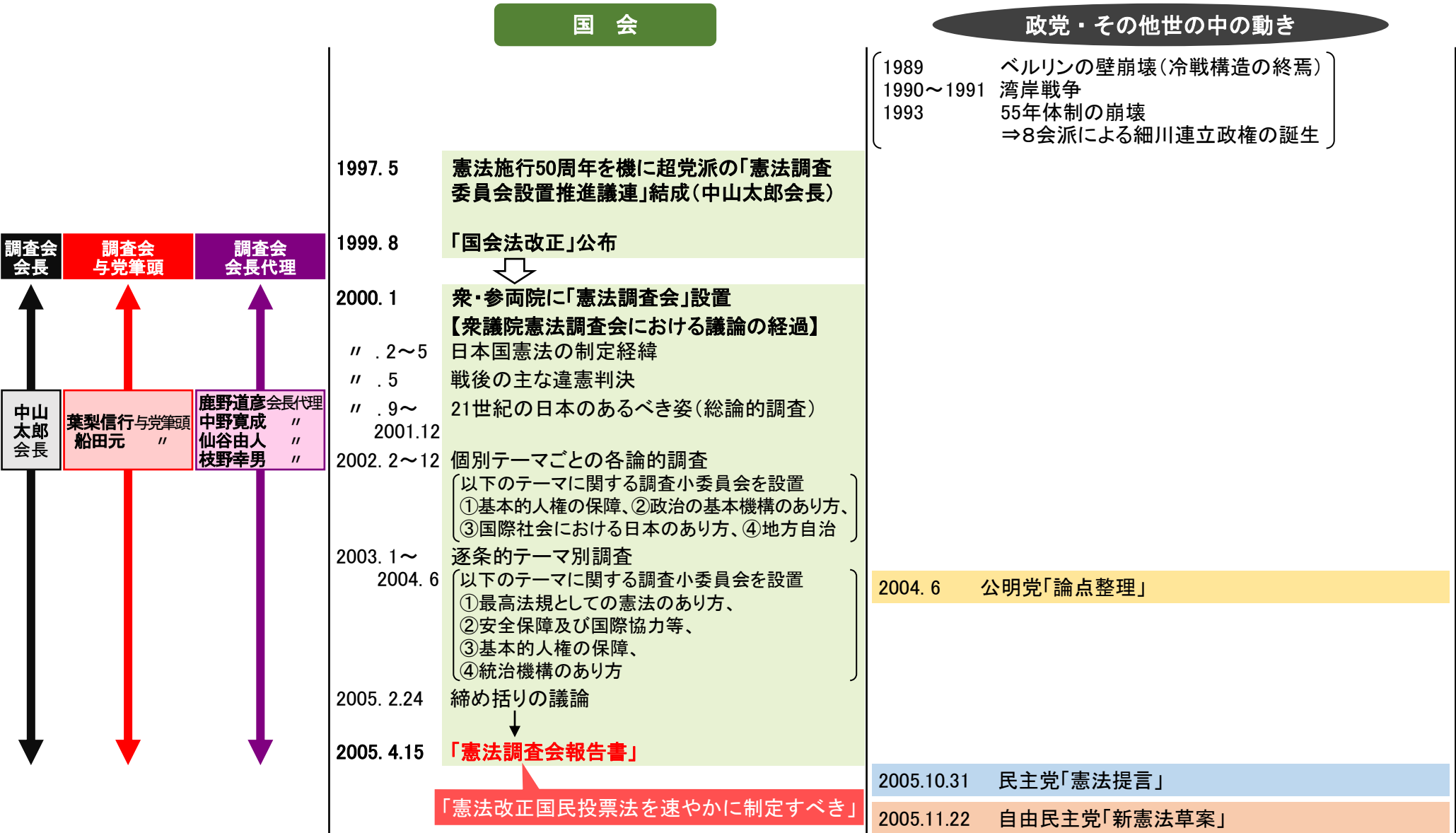
- 前史 ①：憲法調査会と「中山ルール」
- 前史 ②：憲法調査特別委員会での国民投票法の制定

(2) 憲法審査会における憲法論議の経過

- 第1期：「中山調査会報告書」のレビューと「3つの宿題」への対応
- 第2期：各党の憲法提言の活性化と審査会での憲法論議の停滞
- 第3期以降：毎週開催の定例化(オンライン審議に関する議決・緊急事態条項の論点整理)

(1) 前史

《前史①：憲法調査会と「中山ルール」》



「中山ルール」とは

憲法は政策論議（民主主義）の土俵であり、その土俵づくりとも言うべき憲法論議には与党も野党もなく、国民のものであるとの認識の下、

- （１）**憲法論議を政局に絡めず**
 - （２）**互譲の精神をもって歩み寄り（「偉大なる妥協」）**
 - （３）**少数会派の声も尊重する**
- というもの。



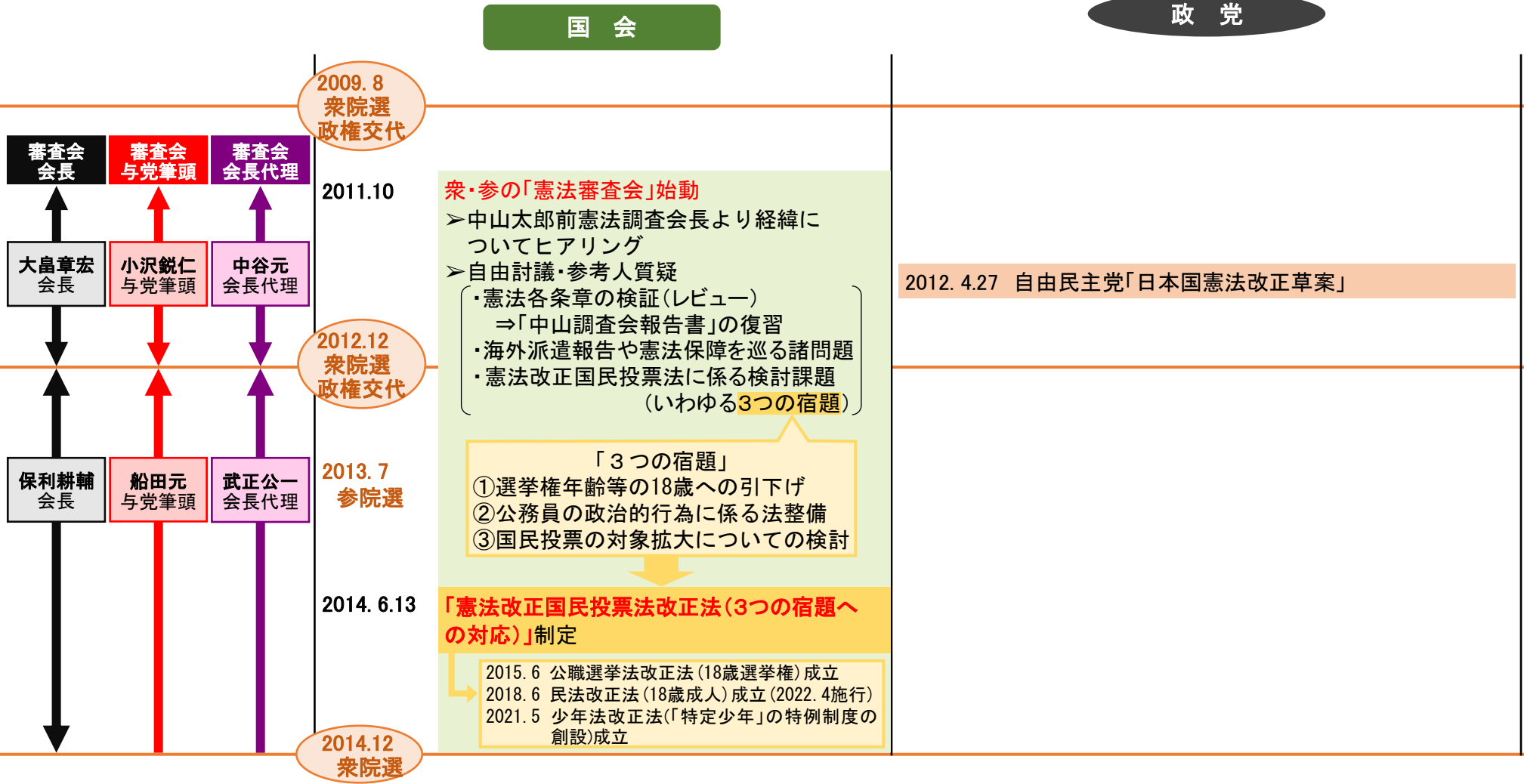
具体的には、

- （１）**政局から一定の距離を持つ運営**
 - （２）**会長代理制度により、与野党ともに運営に責任**
 - （３）**①オブザーバー制度**
②発言時間の考慮
- などに表れている、と一般には理解されている。

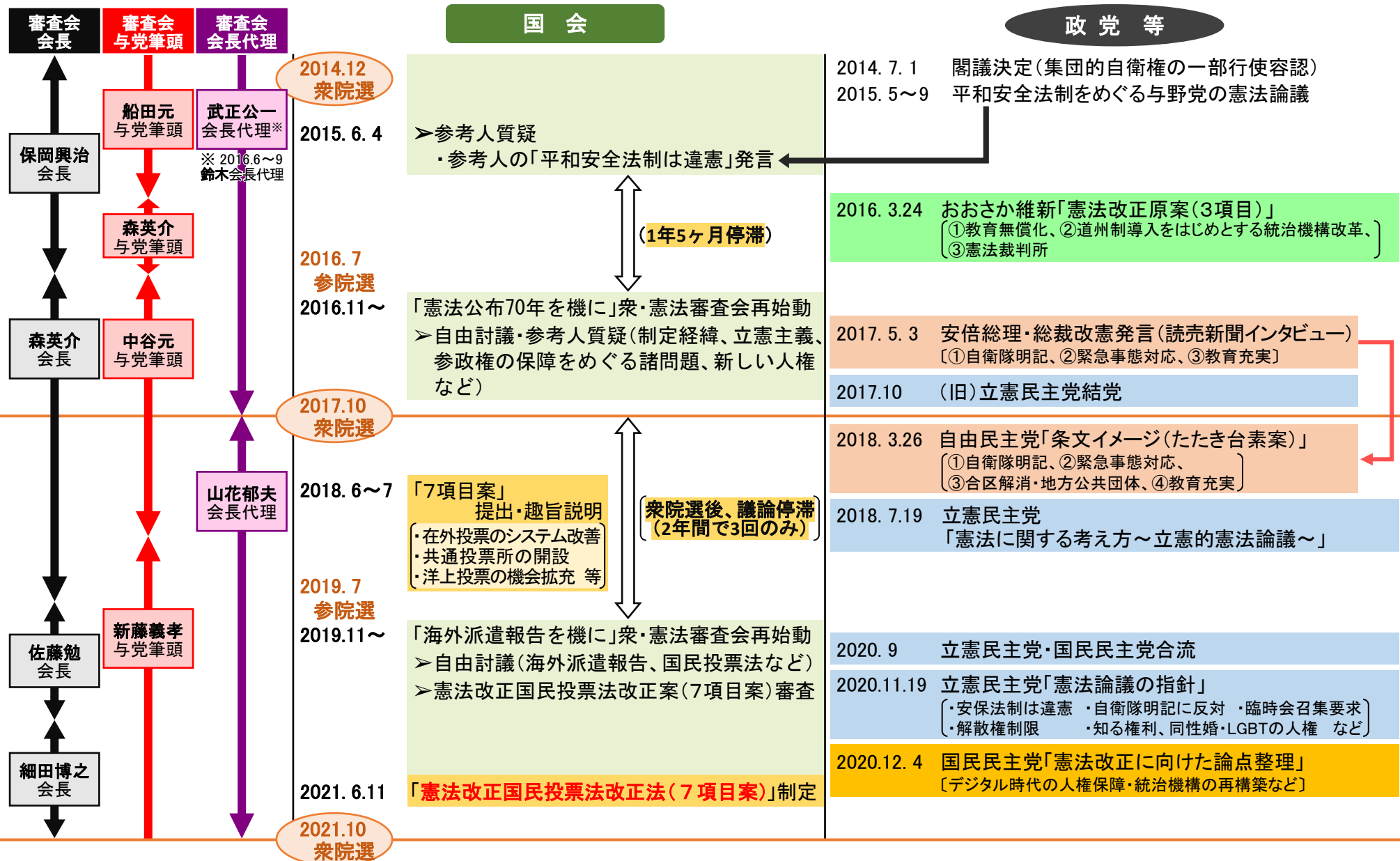
※中野寛成元憲法調査会長代理「**与党の度量と野党の良識**」
（2007.3.28 衆・憲法調査特別委員会 大阪地方公聴会における意見陳述）

(2) 憲法審査会における憲法論議の経過

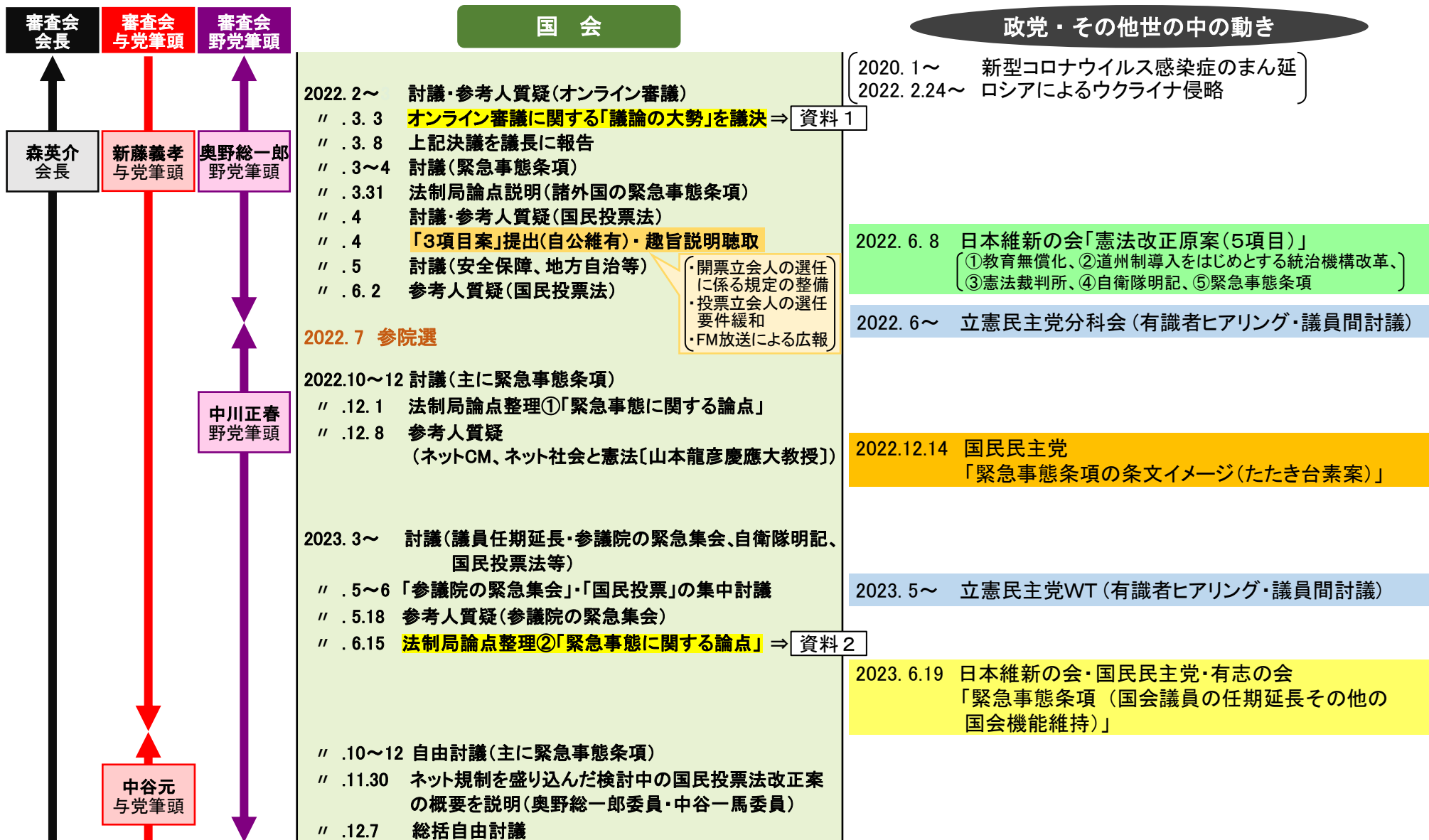
《第1期：「中山調査会報告書」のレビューと「3つの宿題」への対応》

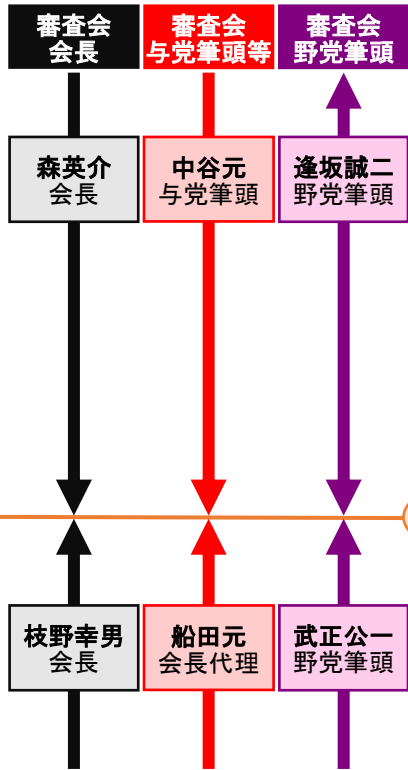


《第2期：各党の憲法提言の活性化と審査会での憲法論議の停滞》



《第3期以降：毎週開催の定例化(オンライン審議に関する議決・緊急事態条項の論点整理)》





国会

2024. 4~6 自由討議(主に緊急事態条項)
 「国民投票」の集中討議
 " . 6.13 総括的発言
 中谷元筆頭幹事が、「中谷メモ」(国会機能維持条項)を配付して発言

政党

2024. 6.28 衆・憲法審幹事懇(流会)後の5党派
 [閉会后] (自民・公明・維新・国民・有志)意見交換会
 詳細化した「国会機能維持条項の骨格案(諸課題付)」を配付して5党派の幹事・オブで共有
 2024. 8. 5 自民党「WTにおける議論の取りまとめ」(議員任期特例)
 2024. 8.30 " 「WTにおける論点整理」(自衛隊明記・緊急政令)

2024.10
 衆院選